

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 10 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	34735003080		
法人名	北広島町社会福祉協議会		
事業所名	グループホーム松籟荘		
所在地	広島県山県郡北広島町川小田75		
自己評価作成日	平成24年8月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年9月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">• 毎日の入浴やシャワー浴、清拭で清潔保持に努めている。• 隣接している高校と交流会がある。（毎回高校生がゲーム等を企画。年4回）• 納涼会を、地域の方や高校生の協力を得て行い、入居者と地域との交流を図っている。• 広い畑で野菜作りを楽しめる。収穫期には障害者支援センターのメンバーと交流も出来る。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム松籟荘（以下、ホーム）は、旧芸北町の自然豊かな場所に位置し、徒歩圏内に商店や駐在所、高校等がある、利便性に恵まれた環境にあります。2ユニットのホームで、1ユニット6人で運営され、少人数であることから、より家庭的な雰囲気となっています。また、職員が入居者一人ひとりの変化に気づいたり、希望を把握したり、個別対応が可能な体制にあります。お願いできそうな仕事や、洗濯や掃除、買い物、調理などを職員と入居者が一緒に行う姿や、笑顔で会話をする姿から家族のような関係が築かれていることが伺えました。社会福祉協議会が運営するホームなので、地域とのつながりを活かして、日頃から入居者と地域住民が顔を合わせて話す機会をつくっておられます。ホームの持つ専門性を地域に還元しながら、地域の一員として暮らし続けることを実現されています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「外部との交流を持つことで、入居者の心身の低下を防ぎ、その人らしさを実現する」の目標を掲げ、毎月の職員会議で共有、意識しながら日々を過ごしている。	「居心地のよい、笑顔あふれるホームをめざす」という理念をもとに、自分たちがどんな介護をされたいかを職員が話し合い、目標を掲げられています。目標を唱和するなどして、理念を意識されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ほとんど毎日の散歩、買い物を通して地域の方と挨拶を交わしたり、会話をします。地域の行事に参加したり、地域の方を施設の祭りに招待している。隣接する高校との交流事業の開催が年4回	地域の商店を利用され、日々の買い物や散歩の際に地域住民と挨拶を交わし、話しをされています。地元の子どもや高校生との交流は、入居者の元気や笑顔につながっています。また、地域全体が認知症の理解や関わり方を学ぶ機会にもなっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々にホームへ来ていただけるように声をかけています。隣接する高校との交流事業において、若い年代からの普及啓発に取り組んでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族、地域、民児委員、行政、学校関係から有効な情報提供をもらい、共有している。	会議は2か月に1回開催し、ホームの活動や入居者の状況報告が主な内容です。会議メンバーが、ホームで入居者と一緒に食事を摂る機会を設けるなど、ホームの理解を得るための工夫が行われています。会議で得られた意見をもとに、ホームの看板の制作を高校生と共同で検討するなど、意見が運営に反映されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員の中に地域包括センターの職員もおり、現状を理解してもらえるよう努めている。定例の地域ケア会議に出席し、情報提供をし共有している。	日常的に相談できる関係があり、必要な情報は共有されています。また、毎月、開催される地域ケア会議で行政担当課と意見交換されています。地域ケア会議をホームで開催するなど、ホームの現状を理解してもらうための機会としても活用されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施錠は利用者の状態により、開放できない時もあるが、概ね日中は玄関を開放し、利用者の動向を把握することを職員間で合意している。利用者の安全を第一に考えている。</p>	<p>どんな場面が身体拘束にあたるか、職員間で共有されています。入居者の安全に考慮し玄関を施錠されることもあります。職員の同行や見守りで、自由な出入りができるよう取り組まれています。入居者は自由に戸外に出て、草とりなどをしておられます。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>行政集団指導や研修に参加し、日々意識に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>行政主催の地域ケア会議に出席したり、職員会議の研修に取り入れる等、職員全体で共有するようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>項目ごとに説明と確認を行いながら実施している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年3回、家族会を実施し、意見や要望を聞いている。出された意見はすぐに検討し、改善すべき点はすぐに導入する。</p>	<p>年3回開催される家族会には、家族が多数参加されています。家族同士、職員が顔見知り、意見が伝えやすい関係ができています。家族の意見をもとに、散髪を支援したり、職員の異動等を速やかに連絡したり、家族の意見を運営に反映するよう努められています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の職員会議や毎日のミーティングで意見や提案を受け、運営に反映している。</p>	<p>個別ケアに関すること、ホームの備品設備に関することなど、日常的に職員の提案や意見が言える関係が築かれています。職員から出された意見は、全職員で共有し、検討されています。ホームの菜園での花や野菜づくりは、職員が主体となって進めておられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>組合を通じて、職場改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間スケジュールによる研修や研修を受ける機会を設け、各自向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>電話連絡などして情報交換を行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>見学に来られた時や、入居面接時にはゆっくり話を聞き、安心してもらえる雰囲気づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学、面接時にしっかり話を聞き、施設での生活等について不安や誤解のないようしっかり話をさせてもらう。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族の訴えをよく聞き、必要な支援を見極める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	尊敬の気持ちを忘れず、信頼できる関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日頃の様子を詳しく伝え、盆、正月その他にも外泊、外出の協力を得ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	知人などの面会を積極的に受け入れ、ゆっくり面会ができるようにしている。	墓参りのついでに自宅の様子を見に行ったり、買い物先で、馴染みの人に会って話しをしたりすることがあります。自宅での行き来ができなくなっても、ホームを自宅のように来訪してもらえるよう、雰囲気づくりに努めておられます。来訪者が、入居者の居室でゆったりと過ごせるよう配慮されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入ったり取りつくろっている。場合によってはユニット替えも行ったりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	家族の支えになるようフォローしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ひとり一人のペースや状態の把握につとめている。希望や意向が困難な場合は集団のひとりとして尊重している。	入居者一人ひとりのこれまでの生活習慣や趣味などを日々の生活で把握するよう努め、それらを支援に反映されています。日常のさりげない言葉を汲み取るよう努力されています。また、思いを引き出せるよう、場面ごとの言葉かけも工夫されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族、親しい方、ケアマネ等からの情報をもとに記録し、職員が共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	小さな変化も見逃さないよう、記録に残し、報・連・相に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族からの意見を聞き、カンファレンスを行い課題を明らかにし、その人らしく生活するよう計画を見直している。</p>	<p>職員の意見をもとに日々の入居者の暮らしぶりや状況を把握し、介護支援専門員が中心となって介護計画を作成されています。家族や主治医等の必要な関係者の意見を踏まえて計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に記録し、情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>取り巻く状況に応じ、細かく支援ができるよう臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事への参加や交流事業など地域資源を活用して、入所者に心身のメリハリを持ってもらうよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医がおり、いつでも相談できるよう連携を取っている。月1回定期受診(冬期間は往診)。専門医への紹介もある。</p>	<p>入居者の状態について、日常的に報告、相談し、連携を図っておられます。内科や精神科など、家族が通院支援を行う場合も、できるだけ職員が同行し、情報共有に努められています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護職員を配置し、いつでも相談できる体制を取っている。主治医とも看護師を通じて24時間体制での連絡・相談が可能である。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際、定期的に病院関係者や家族と情報交換している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医との連携を密にし、入居者の状況をみながら、家族・医師・職員で話し合いながらその意向を大切に職員全員で意思統一し、ケアを行うよう努めている。</p>	<p>これまでに看取りの事例はありませんが、入居者や家族の要望に応じて、主治医と連携を図りながら、看取りを行う方針を持たれています。今後、職員全員の意識統一の徹底や、マニュアルの作成に取り組まれる予定です。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>消防職員の指導により、救命救急講習を受け技術向上に努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防職員の指導により、地域の方を交えて消防訓練を年2回行っている。</p>	<p>消防署員、警察署員の協力を得て、消防訓練を実施されています。消防訓練には、地域住民や入居者も参加されています。屋外に避難し、そのまま外出に出かけるなど、入居者が訓練で混乱しないよう工夫されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員同士が注意しあって、言葉かけや対応に尊厳やプライバシーを傷つけない対応を心がけている。	職員間で注意を促しながら、入居者への声かけを徹底されています。また、これまでできなかったことができなくなることへの不安や心情を察して、一人になれる時間を意図的につくるなど、入居者の誇りやプライバシーに配慮した対応が行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者本意を頭に入れ、自己決定のできる声かけを意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	全体の流れはあるが臨機応変に、心地よいスペースで過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人の思いを大切に支援している。美容院へ出向いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の野菜を使い、季節ごとの行事食も取り入れ、一緒に準備から片付けまでを一人ひとりができることをしている。	職員と入居者が買い物に行き、日々の献立を決めています。また、調理や配膳、片づけも職員と入居者が一緒に行っておられます。パン食の日を設けたり、ホームの菜園で採れた野菜や地域住民からの差し入れを調理したり、食べることが楽しみと感じられるよう工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	一人ひとりの食事量などを把握し、水分をしっかりと、おいしく食べられるよう支援している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、その状態に合わせた声かけや介助を行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	ひとり一人の状況を把握し定期的な声かけで排泄の失敗を減らし、自立へむけた支援を行っている。	チェック表を活用し、声かけやトイレ誘導を行っています。入居者のさりげない動作やしぐさから、トイレに行きたいという気持ちを汲み取るよう努めておられます。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	ひとり一人排便パターンを把握し、飲食物の工夫を行い、引継ぐようにしている。主治医へ相談する場合もある。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	毎日の入浴が楽しみになっている。なるべくゆったりと湯船につかり、リラックスできる時間を個々にとれるよう支援している。	毎日、入浴できるよう支援されています。入居者の状態に応じて、清拭や足浴を行い、清潔を保持されています。ユニットごとに浴槽が異なるため、ユニット間で連携し、入浴されています。冬季は、脱衣場にヒーターやエアコンを置くなどして、温度管理を行っておられます。	現在、浴槽の改修を検討されています。入居者が安全に安心して入浴できるよう、さらに工夫やアイデアを取り入れられることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の習慣や体調に合わせて、自分のペースで休んでもらえるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更、調整は主治医、薬剤師の指導のもと、正しく服薬できるよう職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	体調に合わせてながら、気分転換ができるよう散歩や買い物、ドライブに出かけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ほとんど毎日散歩にでかけているので日課となっている。家族との外出の協力もあり、積極的に利用者の行きたい所へ出かけるよう努めている。	散歩や買い物などの外出が日課であり、地域住民と顔見知りになるきっかけになっています。家族と一緒に食事に出かけられることもあります。外の空気に触れ、気分転換が図られるように取り組まれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ほしいものは家族が用意しており、本人がお金を使うことがない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	書ける方については支援している。電話も話ができる方には支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとに折り紙等で、季節感を表すよに壁などに飾っている。温度に気を配り居心地よく過ごせるよう工夫している。	リビングに畳のスペースを設けたり、外出や行事の写真を飾ったり、居心地良く過ごせるよう配慮されています。共有スペースに置かれた仏壇にお参りをする入居者もおられます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自分の部屋より、共有場所で過ごすことが多くテレビを見たり、気の合う利用者同士話をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた馴染みのものに囲まれるよう家族に協力してもらっている。	ふた間続きの広々とした居室は、入居者一人ひとりの生活習慣や個性を感じることができます。使い慣れた筆筒が持ち込まれ、趣味で作成したパズルが飾られています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ひとり一人できることやできないことをさりげなく援助して自立した生活を送ってもらえるよう努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「外部との交流を持つことで、入居者の心身の低下を防ぎ、その人らしさを実現する」の目標を掲げ、毎月の職員会議で共有、意識しながら日々を過ごしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎日の散歩、買い物を通して地域の方と挨拶を交わしたり、会話をする。近隣の美容院で散髪、パーマを利用したり、地域の行事に参加したり、施設のまつりに招待して交流をしている。隣接する高校との交流事業の開催が年4回		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々にホームへ来ていただけるように声をかけている。施設見学も随時受付けて、病気の理解と普及啓発につとめている。隣接する高校との交流事業において、若い年代からの普及啓発に取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の情報や行政の動向など収集したり、施設の取組み、サービスの実際等に意見をもらい運営に役立てている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員の中に地域包括センターの職員もおり、他地域の施設活動状況等情報収集もあわせて、現状を理解してもらえよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施錠は利用者の状態により実施する時もあるが概ね日中玄関は開放している。利用者の動向を把握することを職員間で合意している。「具体的な行為」を理解しているが利用者の安全を第一に考えている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>行政集団指導や研修に参加し、日々意識に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員会議の研修に取り入れ、職員全体で共有するようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>項目ごとに説明しながら質問を受け理解、納得をしてもらうようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年3回の家族会を実施し、意見、要望を受けたらすぐに検討し、改善を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の職員会議や毎日のミーティングで意見や提案を受け、運営に反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>組合を通じて、職場改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間スケジュールによる研修や研修を受ける機会を設け、各自向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>電話連絡などして情報交換をおこなっている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>見学に来られた時や、入居面接時にはゆっくり話を聞き、安心してもらえる雰囲気づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学、面接時にしっかり話を聞き、施設での生活等について不安や誤解のないようしっかり話をさせてもらう。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	本人や家族の訴えをよく聞き必要な支援を見極める。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	尊敬の気持ちを忘れず、信頼できる関係づくりに努めている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	日頃の様子を詳しく伝え、盆、正月その他にも外泊、外出の協力を得ている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	知人などの面会を積極的に受け入れ、ゆっくり面会ができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入り、良い関係が保てるよう努めている。場合によってはユニット替えも行ったたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	家族の支えになるようフォローしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ひとり一人のペースや状態の把握につとめている。希望や意向が困難な場合は集団のひとりとして尊重している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族、親しい方、ケアマネ等からの情報をもとに記録し、職員が共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	小さな変化も見逃さないよう、報・連・相に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族からの意見を基に、サービス担当者会議を開き、課題を明らかにし、その人らしく生活できるよう計画を見直している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に記録し、情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>取り巻く状況に応じ、細かく支援ができるよう臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事への参加や交流事業など地域資源を活用して、入所者に心身のメリハリを持ってもらうよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医がおり、いつでも相談できるよう連携が取られている。月1回の定期受診(冬期間は往診)を行っている。専門医の受診の紹介もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常の気づきを相談し、主治医の指示を仰げるように連携がとれている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際、定期的に病院関係や家族と情報交換している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医との連携を密にし、入居者の状況をみながら、家族・医師・職員で話し合いながらその意向を大切に職員全員で意識統一し、ケアを行うよう努めている。看取りへの支援体制を整えるべく、「尊厳の保持」について研修を行い職員間で共有するようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>消防職員の指導により、救命救急講習を受け技術向上に努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防職員の指導により、年2回、避難訓練を地域の方の協力を得て実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員同士が注意しあって、言葉かけや対応に尊厳やプライバシーを傷つけない対応を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者本意を頭に入れ、自己決定のできる声かけを意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	全体の流れはあるが臨機応変に、希望に沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人の思いを大切に、近隣の美容室の協力も得て、パーマや散髪を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の野菜を使い、季節ごとの行事食も取り入れた献立にして、準備から片付けまでを一緒に行い、利用者を楽しんでもらえるよう考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>各々の食事量などを把握し、水分をしっかりと、おいしく食べれるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、その方の状態に合わせて声かけや介助を行い、口腔内の清潔保持に努めている。月1回の定期受診時に歯科受診もあわせて行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>ひとり一人の状況を把握し定期的な声かけで排泄の失敗を減らし、自立へむけた支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ひとり一人排便パターンを把握し、飲食物の工夫を行い、引継ぐようにしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴を楽しむことができるよう、職員が声掛けに気をつけて希望に沿うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の習慣や体調に合わせ、自分のペースで休んでもらえるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の変更、調整は主治医、薬剤師の指導のもと、正しく服薬できるよう職員は共有している。症状に変化が見られる場合にはすぐ主治医に連絡、相談を行い、指示を仰ぐようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>体調に合わせてながら、気分転換ができるよう散歩や買い物、ドライブに出かけている。希望される趣味活動も出来るよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物や散歩にでかけたり、希望される美容院への外出も支援している。家族との外出の協力もあり、積極的に利用者の行きたい所へ出かけるよう努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族がほしいものは用意しており、本人がお金を使うことがない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>書ける方については支援している。電話も話ができる方には支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに折り紙等で、季節感を表すような飾り付けを行ったり、施設内の行事の写真等を掲示している。温度に気を配り居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自分の部屋より、共有場所で過ごすことが多くテレビを見たり、気の合う利用者同士話をしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた馴染みのものに囲まれるよう家族に協力してもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ひとり一人のできることやできないことをさりげなく援助して自立した生活を送ってもらえるよう努めている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム松籟荘

作成日 平成24年10月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	入居者が安全に安心して入浴できるようにする。	浴室の傾斜を解消し、浴槽内の深さを解消して転倒を防ぐ。	浴槽内外にすのこを設置する。	1か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。